

市、医師会が連携を強化



菅 良二 今治市長

昭和52年9月、大三島町議会議員を5期連続務めた後、平成8年から大三島町長。平成15年4月から愛媛県議会議員に。平成21年から現職で三期目。趣味はスポーツをすること、観ること、応援すること。空手は二段の腕前。

「地域全体で全世代見守る」菅市長

今治の医療を考えよう!

菅良二市長×



まず取り組まなければならぬのはがんなどの検診率を上げることです。特定健診やがん検診など、なかには無料で受診できるものもあるので、市民の皆さんにはまず健診に行つてもらいたい。早期発見、早期治療は健康寿命の延伸にもつながりますので。

高齢者には、地域全体で最後までその人らしい暮らしを続けるには、介護事業所や医師会、市など全てが一体となり取り組まなければなりません。現在は高齢者が中心ですが、今後は障がい者や児童、子育て世代など全世代を対象に地域包括

高齢者と関しては、今街で暮らしを続けるには、介護事業所や医師会、市など全てが一体となり取り組まなければなりません。

現在は高齢者が中心ですが、今後は障がい者や児童、子育て世代など全世代を対象に地域包括

また、妊婦さんや子育て中のお母さんは、陣痛や困ったことなど一人ではなかなか解決できない時もあります。

昨年9月からは市内のかタクシー会社5社と医師会が連携し、妊婦さんや

今治の街に希望がないと、子どもたちは大人になつても帰つてこない。それでは街に将来がない。

強いリーダーシップで今治市を引っ張つていただきたいと思います。

県病院、早期建て替え要望

司会(マイタウン)
今後、早急に着手しなければいけない課題などはありますか?

ケアシステムを構築していく

菅市長

充実した医療体制を構築するため、地域の医療を守る核である県立今治病院の早期建て替えを、医師会と協力して県に継続して強く要望していく。建て替え場所やヘリポートの設置など、スピードを上げ協議したい。

木本医師会長

今治の街に希望がないと、子どもたちは大人になつても帰つてこない。それでは街に将来がない。強いリーダーシップで今治市を引っ張つていただきたいと思います。

よろしくお願ひします。自分たちの世代のことだけではなく、子どもたち世代へ何ができるかを考える視点が不可欠だと感じます。今後も、市と医師会が連携を深め、質の高い医療体制を提供していきたい。

困った時に24時間いつでも送迎を頼める「こうのとりタクシーサービス」を開始しました。

日常の困ったことが、スムーズに進むと人は安心します。いざという時に地域全体で、弱い立場の人たちを守れる街にしなければなりません。

木本医師会長

ようろしくお願ひします。自分たちの世代のことだけではなく、子どもたち世代へ何ができるかを考える視点が不可欠だと感じます。今後も、市と医師会が連携を深め、質の高い医療体制を提供していきたい。